

# P連トピックス



20年度7月から11月まで

## 第1回オリエンテーション開催

「解離化し『還る家』をさがす子どもたち～神戸から秋葉原へ。今、子どもが、若者が、問いかける」

第1回オリエンテーションが、7月11日(金)に市川市生涯学習センター2階グリーンスタジオで開催されました。「解離化し『還る家』をさがす子どもたち～神戸から秋葉原へ。今、子どもが、若者が、問いかける」と題して、教育・心理カウンセラーの富田富士也先生にご講演を頂きました。「還る家」とは心のホッとする空間であり、親の懐そのもの



講演される富田先生

P連トピックスに掲載しております記事の詳細につきましては、P連ホームページをご覧ください。

<http://www.ichikawa-pta.jp/>

である。「あなたに還る家はありますか?」「思いっきり抱きしめていきますか?」との問いは、受講者の胸に迫るものがありました。神戸事件の少年Aの生い立ちに触れ、『還る家』を失ったことによつて、現実感のない他者に対する共感力が欠如し、事件に発展したと考えられる。いま凶悪犯罪を起こしている若者の多くは「関係性」、「共感性」、「自己肯定性」が欠け、社会に入らずバーチャルな世界に自分を置くことしか出来なくなっている」と提起されました。「関係性」を育てるには、「手を掛けるから人は繋がる」PTA活動や自治会活動など手間は掛かるが人は繋がります人間関係が生まれる、そして子どもはその親の繋がりを人間関係を育てていくことが出来ると話されました。堅苦しい講演ではなく、時折ジャンクをしたり、歌ったりとテンポの良い講演で、あっといふ間の1時間半でした。

当日は、168名の会員の皆様

が参加下さいました。

(宮田小)

## 第2回オリエンテーション開催

第2回オリエンテーションが、11月7日(金)に市川市勤労福祉センター大会議室で開催致しました。今回は、複数の単Pで、同じ役員(副会長・会計・防犯担当)同士がグループを組み、同じ立場が抱える課題や問題を洗い出し、解決の糸口を見出し、あるいは既に解決的な活動の事例を出し、今後のPTA活動の参考にして頂くために、少人数での活動事例座談会形式で行われました。

挨拶をする佐藤会長



頂き、その後、グループごとで進行役及び書記をくじ引きにより選出し、座談会を行いました。はじめのうちは、初対面同士でしたので、なかなか活発ではありませんでしたが、後半は和気あいあいと活発な座談会となり、主催者側として終了の宣告がしにくい状況でした。以下、それぞれのグループから出た、主な課題や問題です。

役員、委員の選出方法。

ブロック交流の有無、内容。

委員会などの開催日時。

- ・PTA関係の交通費の処理。
- ・PTA活動での男性参加率。
- ・講演会などの内容と開催日時と参加者を増やす方法。
- ・本部役員も一保護者ながら、学校と保護者の板挟み状態。来賓に対する接し方。
- ・周年行事の内容。
- ・学校運営への介入の度合い。
- ・メール一斉配信システム。
- ・保護者の協力意識の低下。

【会計】

・集金の担当者。

・集金の方法。振り込みか、持

参加。

・給食費振り込みによる未納対策。

・硬貨入金手数料は?。

・集金作業の内容。流れなど。

・会計の業務内容と範囲。

・PTA会費の適正金額。

・学校予算補助の内容と範囲。

・会費の運用内容の周知。

【防犯担当】

・朝の立ち会いの頻度、参加率。

・放課後パトロールの頻度、内

容、参加率。

・パトロールでの地域協力。

## 各グループで話し合う参加者



## バドミントン大会開催



バドミントン大会優勝チーム

- ・防犯マップの内容。
- ・携帯電話の賛否。
- ・防犯グッズの内容。
- ・かけこみ110番のポイント増
- ・加方法、管理方法。
- ・防犯には男性の協力が不可欠。
- ・青色パトロールカーの利用方法。

当日は、153名の会員の皆様

が参加下さいました。

今回のオリエンテーションの

開催案内に配慮が足りなかった

ことに対し、お詫び申し上げます。

(南行徳小)

7月6日(日)塩浜体育館にてバドミントン大会を参加校17校で開催致しました。試合は、昨年と同様に参加人数が1校でチーム(6名)が作れない学校は、他の学校と合同チームを構成し、加えて今年は、男子の参加者が少なく男子ブロックが組めなかったことから男女混合チームの構成で試合が行われました。試合は白熱した真剣勝負をしつつも、終了後は各所で和気あい